



Aster iinamae

ユウガギク (キク科、シオン属)

山野の草地、道端に生える多年草。

果実の冠毛はごく短いため他のキク科のように風に乗って遠くに飛ぶことはなく、親の近くに落ちて群落を形成する。

茎や枝がほっそり柔らかく繊細な佇まいに心惹かれる。「柚香菊」という字を当てているが柚子の香りはしない。

グリーンセンターの周りに、イヌタデ、ミズヒキのピンクの花に混じって咲き乱れ、初秋の風情を感じさせる。

秋の花 種 (くさぐさ) にあれど色ごとに見し明らかに今日の尊さ

(大伴家持)



副代表としての 意気込み

白澤 紀明



目指せ！技術集団『高尾グリーン倶楽部』

国道 20 号線から梅ノ木平の林道に入ると間伐の行き届いた森が左右に見られ、木々の間から太陽が差し込み、その先には尾根越しに青空がきれいに見とれます。

私が高尾グリーン倶楽部に参加したのは 2010 年頃からですが、会が発足してまもなくの時期で林道沿いの森は手入れが遅れ薄暗い山でした。当時は 10 名程度で尾根沿いの国有林の間伐主体で定例作業を行っていましたが、その後林道沿いの民有林の間伐も手掛け、我々の山の手入れに木々は応え、ここ数年で太く高く成長しました。

現在会員も 50 名を超えるようになり、なにより若い会員や女性が増え、積極的に参加してくれることを大変心強く思います。幅広い参加者に合わせて近年は観察路整備・地拵え・植樹など色々な作業を行うまでになり、活動内容に広がりを見せています。そのような参加者に対してもしっかりした知識・技術を習得してもらい、我々がやる作業、我々だからできる作業をしっかり進めることが大事であり、中にはチェーンソーに興味を持たれる方が出てきました。将来は梅ノ木平から出て、周辺の民有林の間伐遅れの解消や支障木の伐木等地域の方々に貢献できたらよいと思います。皆さんご協力ください。

新人の抱負

石川 敦子

グリーンクラブ (GC) に入会したのは、別の森林ボランティア団体 (高尾の森) がきっかけです。高尾の森で道具班のお手伝いでメンバーの白沢さん、寺田さん、組沢さん、諏訪さん達と仲良くさせてもらい、臨時作業でチェーンソーや森林作業の基本を教えてもらいました。高尾の森は法人会員として参加してるため手ノコでの作業がメインでしたので、チェーンソーをもう少しやりたいなと思い、GC に入会しました。みなさんのように、森林作業にのめり込む迄はいきませんが、安全に楽しくみなさんと作業が出来れば良いなと思っています。その活動により森が守れば更に良いですね！ これからも宜しくお願いします。

小林 大允

普段遊んでいる高尾山山域でのトレイルワークに参加した事で、より一層高尾の山に愛着が湧く様になりました。今後も定期的に参加し、グリーンクラブに貢献できればと思います。宜しくお願いします。

堤 智美

2021 年 5 月から森林ボランティアに参加させてもらっています。普段自分が走っている高尾を整備するのはとてもやり甲斐があり、また先輩方から機具の使い方、高尾の植生など多岐に渡って教えていただき、毎回新しい発見の連続で楽しく学ばせてもらっています。先輩方は気さくで楽しい人ばかりなので、月 1 回のこの時間がとても待ち遠しいです。今後ともよろしくお願い致します。



新しい仲間 よろしくお願ひします

酒井 えりな

新入会の酒井と申します。先日「レジャー林業」という言葉に出会い、私のしたいことはこれだ！と腑に落ちました。私にとって楽しいと思う山仕事をさせてもらうことが僅かでも何かの役に立つのであれば嬉しいと思います。元々山登りも重い荷物も大嫌い、且つ大きな木を切りたいという野心も皆無ですが、非力なおぼさんだからこそ機械の力を利用して、楽に楽しい山仕事ができるようになりたいと思っています。定期的に同じ山へ通い、その季節の変化を感じられることも大きな魅力です。楽しめる機会を与えてくれる会と会員の皆様に感謝をこめて、どうぞよろしくお願い致します。

チェーンソー 特別教育を実施



チェーンソーを使用する林業労働者には、労働安全衛生法に基づくチェーンソー特別教育の受講が義務付けられています。当会では、これに準じて特別教育の受講修了を条件に、チェーンソーの使用を認める制度を設けています。

新規会員が増え、技術を習得して機械作業を行いたいという要望が増えていますが、チェーンソー特別教育は座学と実技を併せて18時間の受講が必要であり、講習機関での受講は負担が大きいため、今回初めて8/28(土)8/29(日)9/5(日)の3日間にわたって会の主催で特別教育を実施しました。受講生は12名でしたが、3日間通しで受講し修了証を受領したのは、奥村さん、小室さん、田中さん、斎藤さん、中島さんの5名、一部修了者には改めて追加の課程を行う予定にしています。

特別教育修了者には、今後定例作業などを通じて実技実習を行い、会としての一層のスキルアップに努めていきたいと思っています。(龍)

受講の感想、今後の抱負

小室 淳裕

3年程前までは山に入るのは年に数回程度でしたが、現在は毎週と言っていいほど山に通っています。それほど日常的に山・森を感じるようになり、整備することも必然的に訪れた機会なのだと思います。本ボランティアではまだ数える程度の参加ではありますが、参加後の達成感を毎回感じています。先日は講師の先生方にしっかりと教えていただき、チェーンソー講習の修了証も無事いただくことができました。まだまだ分からないことばかりですが、出来ることを少しずつ増やし、お役に立てるようになればと思っています。よろしくお願いします。

斎藤 敦

森林ボランティアをきっかけに、講習を受講しました。内容は、座学と実技。チェーンソーを扱うための法令と作業に伴う健康障害。実技ではチェーンソーの基本操作、玉切り、受け口・追い口を使用した伐倒技術、ロープワークなどを学ばせていただきました。他のチェーンソー講習会では、座学が多く、チェーンソーを使っただけの技術もテスト用の木を使用するとのことですが、今回は実際に山の立木を使用したため、実作業に近い感じで受講することができ、即実践に活かそうところが非常に良かったです。

田中 裕康

私が作業する班ではチェーンソーをほとんど使わないが、チェーンソーが太い木を伐るときは確かに楽なので使えるようになりたいと思っていました。座学で法令や伐倒作業の知識、チェーンソーの構造を学び、実技ではエンジンのかけ方、玉切り、実際の伐倒、メンテナンス作業。今回、追い口を作っている最中に木が倒れてしまい唾然としてしまいました。自分がいる場所によっては非常に危険だったので気をつけたいと思います。

中島 晃

気楽に講習を申し込んでみたのですが、座学から実習と充実した内容に気楽な気分を少し後悔したのは言うまでもありません。伐倒の実習ではチームで取り組むという実務に近い環境で、危険に対する配慮や安全の確保など想像した以上に疲れました。不整地での作業や体力には自信があったのですが……。林業の方の作業の大変さの一端を垣間見た気がしました。ウッドショック等林業が注目される中、その実務の一部を知ることができたのは貴重で、今後のボランティア活動以外にも生かすことができないうか考えていきたいと思っています。

奥村 友昭

三日間講習に参加させていただき、またこのような機会を作っていただきありがとうございました。何度か、ボランティア活動の際に、使用させていただいたことはあったのですが、改めて伐採することの難しさ、そして使用することの危険性についても、環境面についても責任が重たいことを再確認することができ、とても勉強になりました。





クツネ



ホンドテン



アナグマ

カメラがとらえた動物たち



ハクビシン



ヒメネズミ



アライグマ



ニホンノウサギ



ノネコ ヒメネズミを捕る

昼間の作業で山に入りますが動物たちに出会うことはめったにありません。夜の山を一人歩いてみても時折気配を感じはしますがそれでも遭遇することはほとんどありません。

そこで赤外線感知のトレイルカメラを設置して観察を行いました。そこには想像もしなかった驚くべき光景が映し出されていました。グリーンセンターのすぐそばや植樹地の周囲で、多くの動物が躍動していることが判りました。

タヌキ、アナグマ、アライグマ、ハクビシン、クツネ、テンなどの雑食性の中型動物が尾根筋の歩道、谷筋の水場などに入れ替わり立ち代わり現れます。その合間にヒメネズミ、リス、ノウサギも現れます。カメラの目の前でヒメネズミがノネコに捕獲される映像も鮮烈に捉えていました。これらの小動物を追ってフクロウもやってきています。

スギ・ヒノキの造林地に空いた新たな植樹地の空間の広がり、多くの動物を招いているということかもしれません。

一方で、カメラは植樹地の中を歩くニホンジカの雌の姿も捉えています。雌ジカが頻繁に来ているということは、この場所で繁殖行動が行われるようになり、奥多摩の二の舞に陥るのではないかと今から心配されます。

今後引き続いて、これらの推移を追跡していきたいと思っています。 龍 久仁人



フクロウ



ニホンジカ



リス



タヌキ



実りの多い森づくり体験

日本山岳会埼玉支部 渡辺 泰子

埼玉支部自然保護委員会に所属後、今回初めて高尾グリーンセンター森づくり研修会に参加させていただきました。高尾グリーンセンターは、美しい新緑に囲まれた、鳥のさえずりが時折心地よく響く静かな梅の木平国有林の中にあります。

高尾グリーン倶楽部から、広葉樹を植樹し、針広混合林を目指した活動をされている事などのお話を伺いました。私は、グリーン倶楽部の加藤さんの指示の下、**除伐、地拵え、作業道作り**を行いました。手ノコで柔らかい枝や竹を切断する際、切り口が滑って苦戦し、太目の枝をノコで切るときはひたすら無心で手を動かしました。唐鉞は狙った根っこを切るのは案外難しく、次回はもっと上手に扱えるようになりたいと思いました。チームの方々と声を掛け合いながら作業を2時間程続けました。小雨が一旦やみ、気温が上がって汗だくになりましたが、きれいになった斜面を見た時には、**達成感**がありました。

今回、初心者用にご配慮いただいた環境下で無理なく**楽しく体験**させていただきましたが、実際、荒地を一から整備作業を行うには相当のご苦労があると感じました。



午後は、楽しみにしていた**植樹の体験**をしました。つぼ刈りをし、穴を掘り、苗を植え土を被せた後、足で土をしっかり踏むと活着率が上がること、篠竹には目印のだけでなく落石などからも苗を守る役目もある事を傍で加藤さんが教えてくださいました。私はそっと幹に触れながら**ヤマザクラ**の苗が無事に成長することを祈りました。

昨年秋の植樹の生育状況を観察した時に、成長している苗もあれば残念ながら枯れてしまった苗もありました。しかし、植樹当初の芽は枯れてしまったものの、その根本から小さな**新しい芽**を出し懸命に生きようとしている苗があったのです。それを目にし、細くてかわいけれども植物の**生命力**強さを感じました。

この日、私は皆様に多くの植物の名前を教えてくださいました。図鑑でしか見たことのない植物（ネコノメソウ、イチリンソウ）、面白い名前の植物（ウラシマソウ、アブラチャン）、似たような形の**植物の見分け方**、おひたしにすると**美味**



しい植物など、様々な種類を覚えていくと森が身近に感じられます。他にも、**天然樹の刈り出し**、**森の4層構造**など植生観察の途中、龍さんが丁寧に説明してくださったことは、初めて耳にすることばかりでとても興味深いものでした。

観察後センターに戻る途中、**ヌタ場**でうじゃうじゃ泳いでいた**ヤマアカガエル**のおたまじゃくしを恐る恐る覗き込んだりするなど、童心に返ったようで皆様と過ごす時間がとても楽しかったです。

生命力に溢れ、動植物の**健やかな高尾の森**に入り、植生を間近で見て触れた今回の研修は、学びの多いとても**豊かな時間**となりました。知識も経験も乏しく、自分ができることはほんのわずかですが、これからも埼玉支部自然保護委員会を通して観察会や森づくりの活動に参加していきたいと思ひます。

高尾グリーン倶楽部の指導員の方々、ご一緒させていただいた山岳会の皆様、工学院大学山岳部OBの皆様大変お世話になりました。**秋の研修**を今から楽しみにしております。苗の無事の**成長**をまた皆様と一緒に確認しに行きたいです。



花の裏の顔

道明 真理

街中や職場で花を見かけるとなんとなく癒されますよね。植物はもちろん人のために花を咲かせるわけではなく、虫を呼び寄せて花粉を運ばせるためですが、よくぞここまで美しくまたは可憐に進化したものと感心します。

そんな美しい花の中には怖い裏の顔を持つ植物がある・・・と国立科学博物館で開催された「特別展植物」で紹介されており、高尾山でもなじみのあるトリカブトやテンナンショウの仲間が展示されていました。なにが怖いのか？



【トリカブト】

植物には動物の食害を防ぐため毒を持つものがありますが、その中でもトリカブトの毒（アコニチン）は有名ですよ。トリカブトの仲間は、根や葉などだけでなく、受粉のための蜜にまで毒を含むとのこと。怖！そこまでやるか。蜜に毒を含むことで、花に穴を開けて蜜だけを横取りする盗蜜を行う昆虫に対抗しつつ、毒に耐えられる蜂の仲間のみを訪花させて受粉を行っているそうです。ちゃんと受粉の手立てを残しながら他の動物は寄せ付けない。最強ですね。

【テンナンショウ】

春にラッパ状に真上に伸びたような特徴的な花を見たことはないでしょうか。この筒のようなものを仏炎苞といい、この中に入った虫は這いあがれない構造となっているとのこと。虫が雄花に入った場合は花粉にまみれて底のスリット状の穴から脱出できますが、雌花にはスリット状の穴はなく、あわれな虫は花粉だけ運んで雌花の中で息絶えてしまう。怖！残酷です。スリット状の穴をもつ雄花の子孫だけが残ってきたということでしょうか。

どうでしょうか、花の裏の顔の怖さを感じていただけでしょうか。怖さというより、動けない植物が毒を持って食害を防いだり、花や香りで受粉してくれる昆虫を呼び寄せて子孫を残したり、その生き残っていくための戦略に感心してしまいます。山道を歩いているとやたら植物の種類が多く何が何やらわからなくなりますが、それぞれの特徴を知ることでもっと植物のすごさを知ることができればいいなと考えています。



◆◆◆ センター大掃除 ◆◆◆

石川敦子さんの発案で9月20日、12名が集まり実施しました。

換気扇、窓ガラス、部屋と廊下の徹底清掃、布団干し。玄関のガラスにはヒノキオイルのスプレーをかけ蜘蛛や蟻などの襲来を防ぎました。

効果抜群!! 好天に恵まれ、気持ちよく宿泊客を迎えられたセンターになりました。

定例活動日以外にも、活動に来た際は部屋の窓を解放し空気の入れ替えをすること、年に数回は大掃除を実施することを確認しました。

ユンボで遊ぶ

白澤 紀明



8月9～12日の4日間ユンボをリースして榎窪川支流の流路回復造成を行った。

これは、7月31日にリーダー相当のメンバーによる梅ノ木平国有林の山見が行われた際に榎窪沢に支流が出会う箇所が三沢峠へ上がる作業道のすぐ脇を道とほぼ同じ高さで流れており、万が一増水すると作業道へ溢れ出て作業道を損傷させる可能性があったためこの作業を行った。という名目でユンボで遊ばせてもらった。

9日：この日朝から川上さんと寺田さんと新しい流路の掘削を開始。私は午後から合流し現場へ。もう全長の2/3の掘削が終わってるじゃん。さすが重機のパワー。恐るべし。早速、午後一で運転席に座らせてもらっていざ作業、というわけにはいかずレバーの操作を一つづつ確認。ん～こ

これはタテ旋回レバーになってる。教習所で教わった操作とちょっと違う。一つ一つの動作がぎこちなく、工事現場のオジさんみたいにスムーズに操縦が出来ない。YouTube見て昨晚あれだけイメージトレーニングしたのに。

この日は楽勝で水路開通。沢の水が勢いよくとはいかず、水量がないのでちょろちょろと。

10日：この日はまず旋回レバーを横旋回に切り替えし今までの流路の埋め戻しを午前中。午後からは水路の成形作業。動きも少し良くなったか。一人1時間づつ交代で運転する。運転中はあつという間の1時間だけど待っているのは長い。なかなか順番が回ってこない。



11・12日：この日から酒井さんも参戦。レバー操作を一通り教え早速掘削。うまいうまい。回を重ねるほどうまくっていく。我々は周囲の端材等を片付け集積。そして、掘削で出た残土を排土板で押し廻りを整地したことで広場が出来上がった。又、龍さん懸案の3

号路の入り口に集積してあった端材もユンボで横に振り、ブル道を復元。

この4日間で色々操作法も学べ、今後林道が土砂災害に遭ってもユンボを活用しセンターの再開を迅速に行えるだろう。



森林ボランティア募集中!!! 高尾グリーン倶楽部

高尾グリーン倶楽部は、南高尾山域で森づくり活動を行っているボランティア団体です。“多様で豊かな森の再生”が合言葉です。また、グリーンセンターの利用者や市民の皆様を対象に作業体験を支援する活動を行っています。

あなたも活動に参加し、私たちと一緒に汗を流しませんか。

活動日：毎月第1日曜日 9:00～15:00 集合時間：9:00グリーンセンター集合

参加申し込み：Email ryu-kun@jcom.zaq.ne.jp

Tel 090-4373-1555 龍久仁人宛





センター全景

ドローンで見る高尾グリーンセンター



榎窪山 コナラの枯木



センターの前のフジキの大木



草戸山

9/14 (火) 森林管理署と高尾森林事務所の皆さんがドローンでナラ枯れの調査のため、高尾グリーンセンターを訪れました。その時の写真をご提供いただきました。榎窪山の尾根のコナラ1本の枯れが確認されます。



高尾グリーンセンター利用案内



自然とのふれあいや学びの場に適した環境です。グループ活動や各種研修のための施設としてご利用ください。10名以上で受け付け、すべて貸し切り利用になります。ご希望により高尾グリーン倶楽部のメンバーが自然体験や間伐作業体験などのお世話をします。



■利用料金

- ・宿泊利用料金：
大人 3,300 円、子ども 2,300 円
- ・日帰り利用料金：
大人 1,000 円、子ども 500 円

■施設概要

- ・宿泊室 4 部屋（和 2 室、洋 2 室）定員 23 名
- ・集会室 40 人収容、調理室、浴室 2、野外バーベキュー施設
- ・駐車場 10 台
- ・調理用の什器類、バーベキュー用品等は一式そろっており、自由にお使いいただけますが、食材はすべて持ち込みです。
- ・上水道は、2017 年に新しく掘削されたおいしい井戸水です。
- ・森林作業体験は原則有料（インストラクター 1 人当たり 4,000 円）ですが、青少年等は減免措置あり、ご相談ください。
- ・詳しくはホームページをご参照ください。（龍）

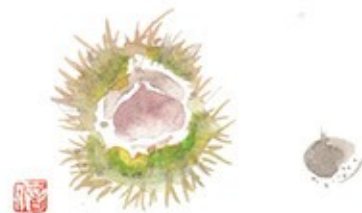
<http://takao-green-club.pepper.jp/>

編集後記

8～9月には感染拡大の影響でグリーンセンターの宿泊者や体験活動が途絶えました。その中で、チェーンソー特別教育、ユンボによる河川の復旧作業、施設の大掃除など会員による内部の活動を地道に行ないました。コロナ収束とともに利用者が増え、会の活動が活発になっていきますように力を合わせていきましょう。

たびたび拙い歌です。

- ・赤ままたツマグロヒョウモン止まり来て時静止する夏の昼下が
- ・哀れな名ベニバナボロギクうなだれて頬紅のハケになりたいと言う
- ・静けさに落ち葉踏む音サクサクと木もれ日の森は秋の香りする
- ・詫び伏しの枕辺で鳴くカネタタキ今宵一夜の友でいようね
- ・もみじ葉は高き空より舞い降りて秋風さやぎモズ高く鳴く



編集委員 千谷